



平成26年11月14日

各位

株式会社T&Dホールディングス
 (コード番号 8795 東証第一部)
 太陽生命保険株式会社
 大同生命保険株式会社
 T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

平成27年3月期第2四半期(中間)決算のお知らせ

T&D保険グループ(T&Dホールディングス、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命)の平成27年3月期第2四半期(平成26年4月1日~平成26年9月30日)の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

契約業績(生命保険会社3社合算:個人保険・個人年金保険)

- 新契約高は、3兆4,269億円、前年同期から10.5%の増加。
- 保有契約高は、60兆272億円、前年度末から0.9%の増加。
- 解約失効高は、1兆8,881億円、前年同期から7.2%の減少。

損益関係(T&Dホールディングス連結)

- 経常収益は、1兆2,146億円、前年同期から14.9%の増加。
 うち保険料等収入は、9,983億円、前年同期から22.5%の増加。
- 経常利益は、927億円、前年同期から1.4%の減少。
- 中間純利益は、527億円、前年同期から29.3%の増加。

通期業績予想

- 通期業績予想の修正はありません。

以上

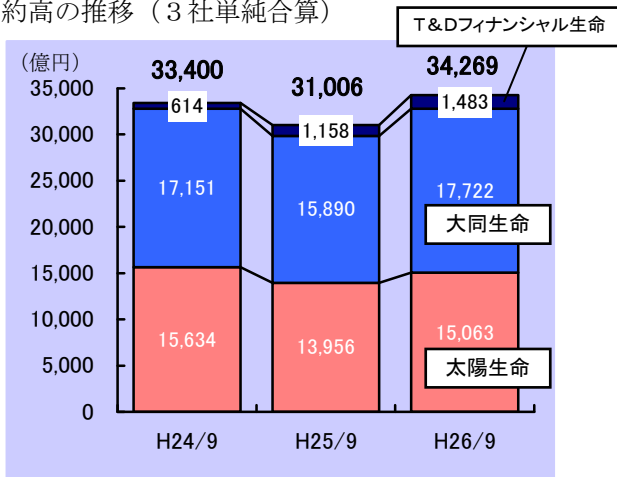
【お問合せ先】

株式会社T&Dホールディングス	広報部	佐藤・今井	TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社	広報課	松島	TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社	広報課	西岡	TEL 03-3434-9190
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課	進藤	TEL 03-3434-8840

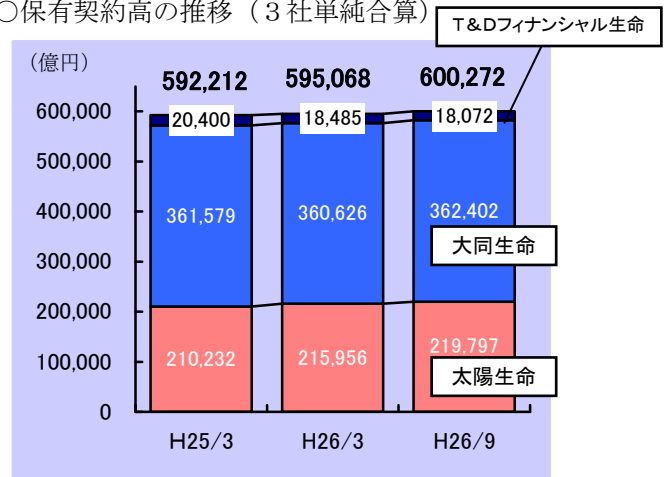


[契約業績（個人保険・個人年金保険）]

○新契約高の推移（3社単純合算）



○保有契約高の推移（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比
新契約高	34,269	3,263 増 (10.5%増)	15,063	1,107 増 (7.9%増)	17,722	1,831 増 (11.5%増)	1,483	324 増 (28.0%増)
新契約年換算保険料	809	178 増 (28.3%増)	296	80 増 (37.1%増)	390	69 増 (21.8%増)	121	28 増 (30.4%増)
うち医療保障・ 生前給付保障等	91	10 増 (13.0%増)	39	7 増 (24.6%増)	52	2 増 (5.6%増)	0	0 増 (204.4%増)

(注) 新契約高には転換による純増加分を含んでおります。

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期末	前年度末比	当第2四半期末	前年度末比	当第2四半期末	前年度末比	当第2四半期末	前年度末比
保有契約高	600,272	5,203 増 (0.9%増)	219,797	3,840 増 (1.8%増)	362,402	1,775 増 (0.5%増)	18,072	412 減 (2.2%減)
保有契約年換算保険料	14,329	123 増 (0.9%増)	6,455	100 増 (1.6%増)	6,634	145 増 (2.2%増)	1,239	121 減 (8.9%減)
うち医療保障・ 生前給付保障等	1,657	23 増 (1.4%増)	976	3 減 (0.4%減)	648	28 増 (4.6%増)	32	1 減 (4.7%減)

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比
解約失効率			2.98%	0.01ポイント上昇	3.30%	0.34ポイント低下	2.91%	1.68ポイント低下
解約失効高	18,881	1,474 減 (7.2%減)	6,439	198 増 (3.2%増)	11,904	1,274 減 (9.7%減)	537	398 減 (42.5%減)

(注) 解約失効率は、年換算していません。

■ 3社単純合算

- ・新契約高は、3兆4,269億円、前年同期から10.5%の増加。
- ・保有契約高は、60兆272億円、前年度末から0.9%の増加。

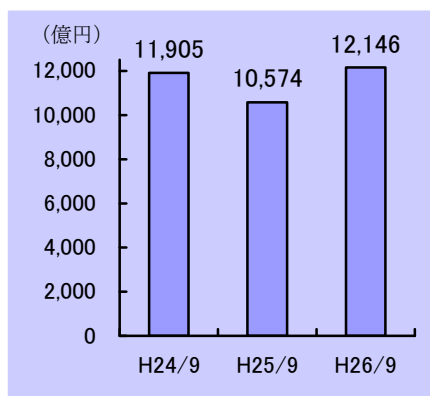
なお、大同生命の「Jタイプ※」および「Tタイプ※」を加算した新契約高は3兆6,966億円、前年同期から10.8%の増加。また、同じ基準でみた保有契約高は、61兆4,492億円、前年度末から1.2%の増加。
 ※定期保険と並んで主力商品である「Jタイプ（無配当重大疾病保障保険）」および「Tタイプ（無配当就業障がい保障保険）」（本年9月発売）は、普通死亡の保障がないため、重大疾病保険金額および就業障がい保険金額は上表の新契約高・保有契約高・解約失効高には計上していません。

■ 各社の状況

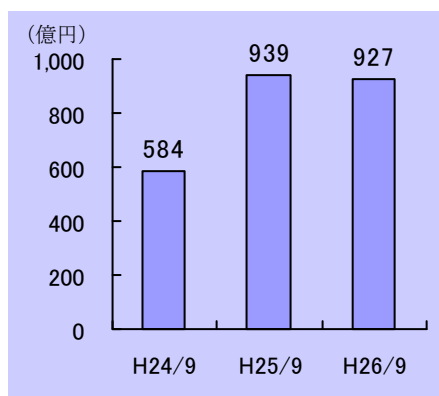
- ・太陽生命の新契約高は、1兆5,063億円、前年同期から7.9%の増加。これは主に、主力商品の「保険組曲Best」の販売増加による。また、保有契約高は、21兆9,797億円、前年度末から1.8%の増加。
- ・大同生命の新契約高は、1兆7,722億円、前年同期から11.5%の増加。また、保有契約高は、36兆2,402億円、前年度末から0.5%の増加。なお、「Jタイプ」および「Tタイプ」を加算した新契約高は、2兆419億円となり、前年同期から11.9%の増加。また、同じ基準でみた保有契約高は、37兆6,622億円となり、前年度末から1.1%の増加。
- ・T&Dフィナンシャル生命の新契約高は、1,483億円、前年同期から28.0%の増加。これは主に、一時払終身保険の販売増加による。

[損益関係]

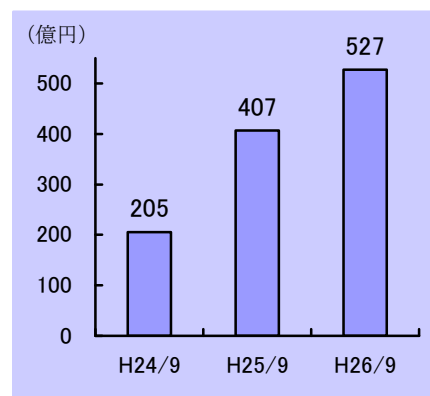
○経常収益（連結）



○経常利益（連結）



○中間純利益（連結）



(単位：億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比
経常収益	12,146	1,571 増 (14.9%増)	5,602	1,112 増 (24.8%増)	4,764	374 増 (8.5%増)	1,981	223 減 (10.1%減)
うち保険料等収入	9,983	1,835 増 (22.5%増)	4,697	1,180 増 (33.6%増)	3,869	382 増 (11.0%増)	1,404	269 増 (23.8%増)
うち資産運用収益	1,811	277 減 (13.3%減)	843	19 減 (2.3%減)	792	4 減 (0.6%減)	201	242 減 (54.7%減)
うち利息及び配当金等収入	1,440	10 増 (0.8%増)	779	5 増 (0.7%増)	633	3 増 (0.6%増)	36	1 増 (4.2%増)
うちその他経常収益	351	13 増 (3.9%増)	61	48 減 (44.2%減)	102	3 減 (3.2%減)	375	250 減 (40.1%減)
経常費用	11,219	1,584 増 (16.4%増)	5,271	1,121 増 (27.0%増)	4,289	372 増 (9.5%増)	1,867	217 減 (10.4%減)
うち保険金等支払金	7,205	292 減 (3.9%減)	2,982	27 減 (0.9%減)	2,443	201 減 (7.6%減)	1,774	64 減 (3.5%減)
うち責任準備金等繰入額	2,373	2,043 増 (618.9%増)	1,587	1,183 増 (293.3%増)	1,094	619 増 (130.6%増)	0	77 減 (100.0%減)
うち資産運用費用	297	155 減 (34.4%減)	145	3 減 (2.4%減)	157	54 減 (25.8%減)	13	86 減 (86.7%減)
経常利益	927	12 減 (1.4%減)	330	8 減 (2.4%減)	475	2 増 (0.6%増)	113	6 減 (5.0%減)
特別利益	1	1 増 (414.9%増)	1	1 増 (—)	—	—	—	—
特別損失	28	122 減 (81.2%減)	16	35 減 (67.9%減)	10	85 減 (88.7%減)	0	1 減 (75.3%減)
契約者配当準備金繰入額	159	7 増 (5.0%増)	88	3 増 (3.9%増)	70	4 増 (6.4%増)	0	0 増 (—)
税引前中間純利益	740	103 増 (16.2%増)	227	24 増 (12.4%増)	393	83 増 (27.1%増)	112	4 減 (3.6%減)
法人税等合計	212	15 減 (7.0%減)	61	8 減 (12.7%減)	113	7 減 (5.8%減)	34	1 増 (3.2%増)
中間純利益	527	119 増 (29.3%増)	165	33 増 (25.7%増)	280	90 増 (48.0%増)	78	5 減 (6.3%減)

(参考)

資産運用関係収支 (一般勘定)	1,357	138 増 (11.4%増)	698	16 減 (2.2%減)	622	53 増 (9.4%増)	43	101 増 (—)
--------------------	-------	-------------------	-----	-----------------	-----	-----------------	----	--------------

- (注) 1. T&Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社3社の単純合算とは必ずしも一致いたしません。
 2. 保険料等収入の3社単純合算は9,972億円（前年同期比22.5%増）です。
 3. 特別損失（28億円）のうち、24億円は価格変動準備金への繰入です。（太陽生命：13億円、大同生命：10億円、TDF生命：0億円）
 4. 資産運用関係収支（一般勘定）は、一般勘定に関して、資産運用収益から資産運用費用を差し引いたものです。

■ T & Dホールディングス連結

- ・ **経常収益**は、1兆2,146億円、前年同期から14.9%の増加。
これは主に、3社の保険料等収入が増加したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、9,983億円、前年同期から22.5%の増加。
- ・ **経常利益**は、927億円、前年同期から1.4%の減少。
- ・ **中間純利益**は、527億円、前年同期から29.3%の増加。
これは主に、価格変動準備金繰入額の減少に伴い特別損失が減少したことによる。

■ 太陽生命の状況

- ・ **経常収益**は、5,602億円、前年同期から24.8%の増加。
これは主に、保険料等収入が増加したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、4,697億円、前年同期から33.6%の増加。
これは主に、個人年金保険および終身生活介護年金保険の保険料の増加による。
- ・ **経常利益**は、330億円、前年同期から2.4%の減少。
これは主に、キャピタル損益が減少したことによる。
- ・ **中間純利益**は、165億円、前年同期から25.7%の増加。
これは主に、特別損失が減少したことによる。

■ 大同生命の状況

- ・ **経常収益**は、4,764億円、前年同期から8.5%の増加。
これは主に、保険料等収入が増加したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、3,869億円、前年同期から11.0%の増加。
これは主に、個人保険の保険料の増加による。
- ・ **経常利益**は、475億円、前年同期から0.6%の増加。
- ・ **中間純利益**は、280億円、前年同期から48.0%の増加。
これは主に、特別損失が減少したことによる。

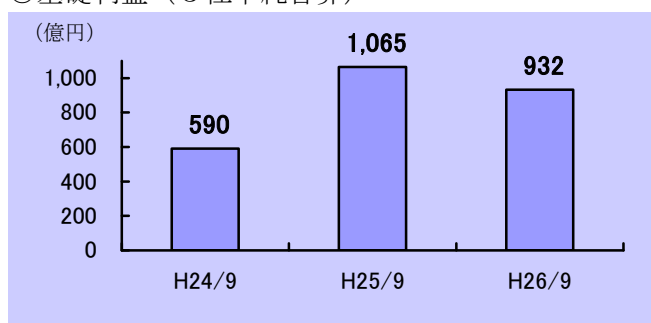
■ T & Dフィナンシャル生命の状況

- ・ **経常収益**は、1,981億円、前年同期から10.1%の減少。
これは主に、保険料等収入が増加した一方で、特別勘定資産運用益、責任準備金戻入額が減少したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、1,404億円、前年同期から23.8%の増加。
これは主に、一時払終身保険の保険料の増加による。
- ・ **経常利益**は、113億円、前年同期から5.0%の減少。
- ・ **中間純利益**は、78億円、前年同期から6.3%の減少。

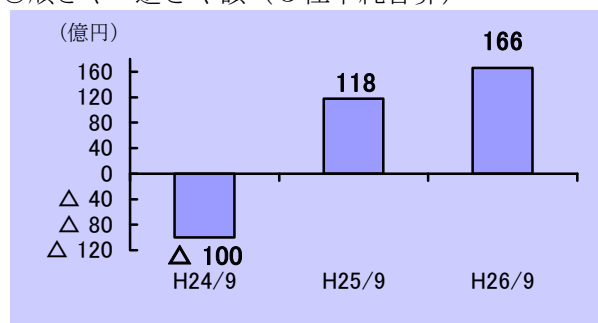
[その他の指標等]

<基礎利益と順ざや・逆ざや>

○基礎利益（3社単純合算）



○順ざや・逆ざや額（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比
基礎利益	932	133 減 (12.5%減)	382	17 増 (4.7%増)	507	29 増 (6.1%増)	42	179 減 (80.9%減)
順ざや額 (負値の場合は逆ざや額)	166	48 増	90	28 増	91	21 増	△15	1 減

■ 3社単純合算

- ・ **基礎利益**は、932億円、前年同期から133億円の減少。
これは、太陽生命および大同生命では増加したものの、T&Dフィナンシャル生命で減少したことによる。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命の基礎利益**は、382億円、前年同期から17億円の増加。
順ざや額は、90億円、前年同期から28億円の増加。
これは主に、基礎利益中の運用収支の増加による。
- ・ **大同生命の基礎利益**は、507億円、前年同期から29億円の増加。
順ざや額は、91億円、前年同期から21億円の増加。
これは主に、基礎利益中の運用収支の増加による。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命の基礎利益**は、42億円、前年同期から179億円の減少。
これは主に、変額個人年金保険の保有契約高減少に伴い最低保証責任準備金戻入額が減少したことによる。
逆ざや額は、15億円、前年同期並み。

<ソルベンシー・マージン比率>

	T&Dホールディングス		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期末	前年度末比	当第2四半期末	前年度末比	当第2四半期末	前年度末比	当第2四半期末	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率			1,037.5%	56.2pt 上昇	1,295.3%	138.9pt 上昇	1,183.8%	132.6pt 上昇
連結ソルベンシー・マージン比率	1,213.4%	98.4pt 上昇	1,045.6%	56.6pt 上昇	1,303.3%	139.4pt 上昇		

(注) T&Dフィナンシャル生命は、子会社等がないため、連結ソルベンシー・マージン比率を表示しておりません。

■ T&Dホールディングス連結

- ・ **連結ソルベンシー・マージン比率**は、1,213.4%。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,037.5%、前年度末から56.2ポイント上昇。
これは主に、中間純利益の計上およびその他有価証券の評価差額の増加による。
- ・ **大同生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,295.3%、前年度末から138.9ポイント上昇。
これは主に、中間純利益の計上およびその他有価証券の評価差額の増加による。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,183.8%、前年度末から132.6ポイント上昇。
これは主に、変額個人年金保険の運用期間満了等に伴い最低保証リスクが減少したことによる。

<実質純資産>

(単位：億円)

	T&Dホールディングス(連結)		太陽生命(単体)		大同生命(単体)		T&Dフィナンシャル生命(単体)	
	当第2四半期末	前年度末比	当第2四半期末	前年度末比	当第2四半期末	前年度末比	当第2四半期末	前年度末比
実質純資産	22,475	2,374 増	9,731	1,168 増	11,023	1,097 増	1,350	101 増

■ T&Dホールディングス連結

- ・連結実質純資産は2兆2,475億円、前年度末から2,374億円の増加。
これは主に、3社の中間純利益の計上および有価証券の差損益が増加したことによる。

■ 各社の状況

- ・太陽生命の実質純資産は、9,731億円、前年度末から1,168億円の増加。
- ・大同生命の実質純資産は、1兆1,023億円、前年度末から1,097億円の増加。
- ・T&Dフィナンシャル生命の実質純資産は、1,350億円、前年度末から101億円の増加。

<有価証券差損益(一般勘定)>

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期末	前年度末比	当第2四半期末	前年度末比	当第2四半期末	前年度末比	当第2四半期末	前年度末比
有価証券差損益	10,083	2,024 増	5,904	1,134 増	3,815	783 増	363	107 増
公社債	4,630	732 増	2,415	334 増	1,899	328 増	315	69 増
株式	3,118	586 増	1,874	318 増	1,244	268 増	—	—
外国証券	1,936	617 増	1,469	457 増	466	159 増	—	—
その他の証券	194	51 増	73	19 増	121	32 増	—	—
金銭の信託	48	37 増	—	—	—	0 減	48	37 増
買入金銭債権	155	1 減	71	5 増	83	6 減	—	—
土地等の差損益	227	1 増	15	1 増	212	0 減	—	—

(注) 1. 有価証券差損益は、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。

2. 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しております。

<市場整合的エンベディッド・バリュー (MCEV) > [概算値]

(注) 四半期の数値は一部簡易な計算前提等を用いて計算した概算値であり、第三者の検証も受けておりません。

(単位：億円)

	T&D保険グループ全体 (Group MCEV)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期末	前年度末比	当第2四半期末	前年度末比	当第2四半期末	前年度末比	当第2四半期末	前年度末比
MCEV	約 21,274	約 1,573 増	約 7,778	約 727 増	約 12,238	約 778 増	約 988	約 65 増

	T&D保険グループ全体 (3社合計)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期累計		当第2四半期累計		当第2四半期累計		当第2四半期累計	
新契約価値	約 496		約 159		約 312		約 25	

(注) 前年同期の新契約価値は、T&D保険グループ全体(3社合計)が約420億円、太陽生命が約120億円、大同生命が約280億円、T&Dフィナンシャル生命が約10億円であります。

■ T&D保険グループ

- ・ **Group MCEV**は、約2兆1,274億円と、前年度末から約1,573億円の増加。
※Group MCEVは「生命保険事業のMCEV(約2兆1,006億円)」と「生命保険以外の事業に係る純資産(約268億円)」の合計額です。
新契約価値は、約496億円となった。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命のMCEV**は、約7,778億円、前年度末から約727億円の増加。
新契約価値は、約159億円となった。
- ・ **大同生命のMCEV**は、約1兆2,238億円、前年度末から約778億円の増加。
新契約価値は、約312億円となった。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命のMCEV**は、約988億円、前年度末から約65億円の増加。
新契約価値は、約25億円となった。

[平成27年3月期通期業績予想]

○T&Dホールディングス連結

平成27年3月期の通期業績予想は次のとおりです。(平成26年5月15日公表分から変更ありません。)
(単位：億円)

	平成26年3月期実績	平成27年3月期予想
経常収益	20,857	21,700 程度
経常利益	1,862	1,490 程度
当期純利益	789	770 程度

1株当たり年間配当金予想は25円です。

なお、上記の前提となる生命保険会社3社(単体)の平成27年3月期の通期業績予想は次のとおりです。

(単位：億円)

	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	9,000 程度	8,800 程度	3,700 程度
経常利益	600 程度	710 程度	170 程度
当期純利益	270 程度	390 程度	120 程度

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以上

(参考) 生命保険会社3社の平成27年3月期通期見通し

平成26年5月15日公表分から変更ありません。

(単位：億円)

	3社単純合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,590 程度	660 程度	890 程度	40 程度
保険料等収入	18,200 程度	7,300 程度	7,400 程度	3,500 程度
順ざや額 (負値の場合は逆ざや額)	140 程度	80 程度	90 程度	△30 程度
新契約高	65,200 程度	28,100 程度	33,300 程度	3,800 程度
保有契約高	601,100 程度	222,500 程度	360,100 程度	18,500 程度
解約失効率 (%)		5.8%程度	7.0%程度	4.6%程度

(注) 1. 新契約高、保有契約高および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。

また、新契約高には転換による純増加高を含みます。

2. 大同生命に関して、「Jタイプ(無配当重大疾病保障保険)」の重大疾病保険金額および「Tタイプ(無配当就業障がい保障保険)」の就業障がい保険金額を加算した契約高の見通しは、次のとおりです。

新契約高 : 3兆9,100億円程度

保有契約高 : 37兆6,900億円程度

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。

以 上